

最近の経済動向

平成27年6月号

(平成27年4月の経済指標を中心として)

【北海道の景気概況】

緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

[需要動向（消費・投資）]

- P 1 ■個人消費 ~ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる
大型小売店販売額
コンビニエンスストア販売額
新車登録台数
- P 2 ■住宅建設 ~ 下げ止まりの兆しがみられる
新設住宅着工戸数
- P 3 ■公共工事 ~ 減少している
公共工事請負金額
- P 3 ■観光 ~ 改善している
来道客数
- P 4 ■輸出入 ~ 輸出額、輸入額とも前年を下回った
輸出入額

[生産動向]

- P 5 ■生産活動 ~ 横ばい傾向ながら弱い動きもみられる
鉱工業生産指数
- P 5 ■電力 ~ 電力需要、大口電力とも前年を下回った
電力需要
- P 6 ■企業倒産 ~ 件数・負債総額とも減少している
倒産件数・負債総額

[雇用動向]

- P 7 ■求人・求職 ~ 緩やかに改善している
月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率、新規求人数・求職者数、新規求人倍率
- P 8 ■失業
完全失業者数・完全失業率

[物価動向]

- P 8 ■物価 ~ 消費者物価指数は前年を下回った
消費者物価指数

[企業情報]

- P 9 ■企業のみなさまから伺いました

[地域の経済動向]

- P 10 ■地域の経済動向
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

[景気動向指数・全国の景気]

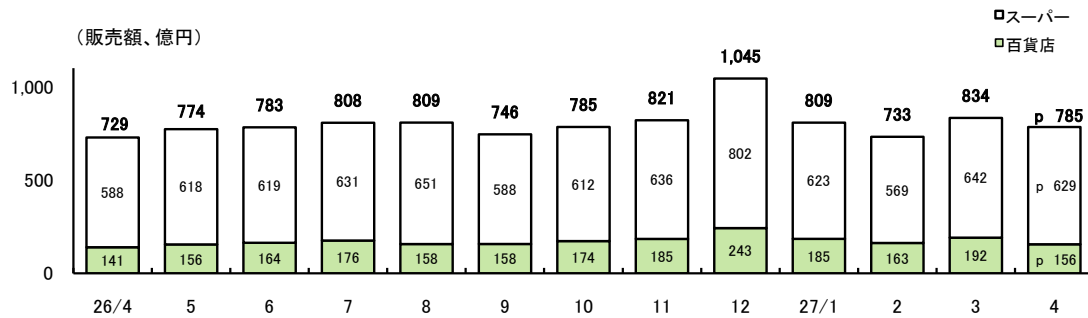
- P 16 ■北海道の景気動向指数
- P 17 ■全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

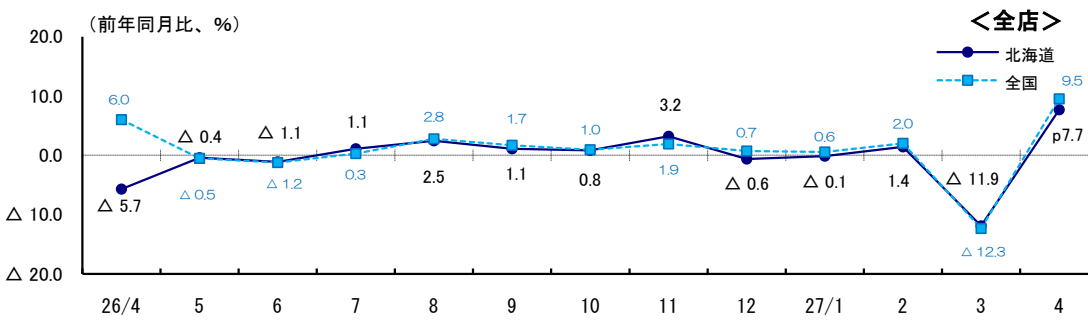
■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きがみられる

◆大型小売店販売額(4月)◆

全店ベースで785億円、前年同月比7.7%増と2か月ぶりに前年を上回り、既存店ベースでは同7.8%増と2か月ぶりに前年を上回った。



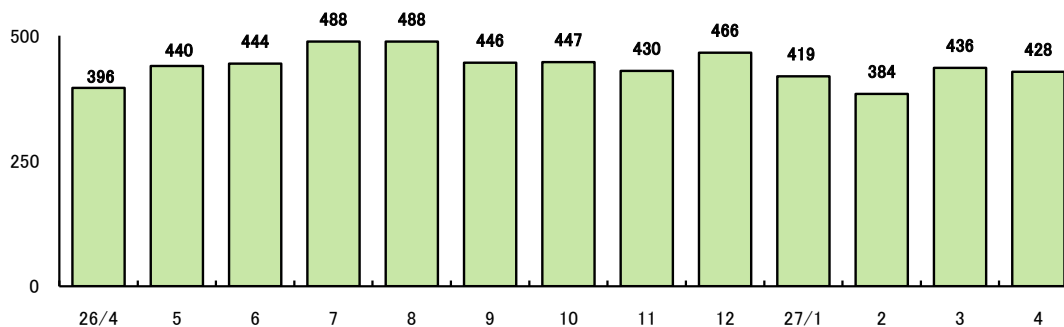
(注)pは速報値(以下同様)



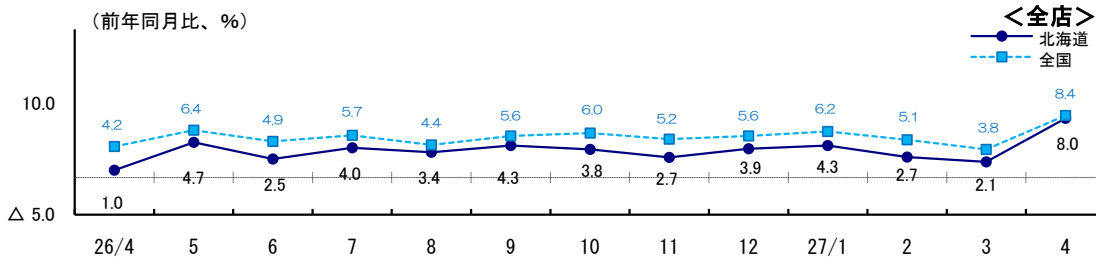
(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

◆コンビニエンスストア販売額(4月)◆

全店ベースで428億円、前年同月比8.0%増と18か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同6.1%増と2か月ぶりに前年を上回った。



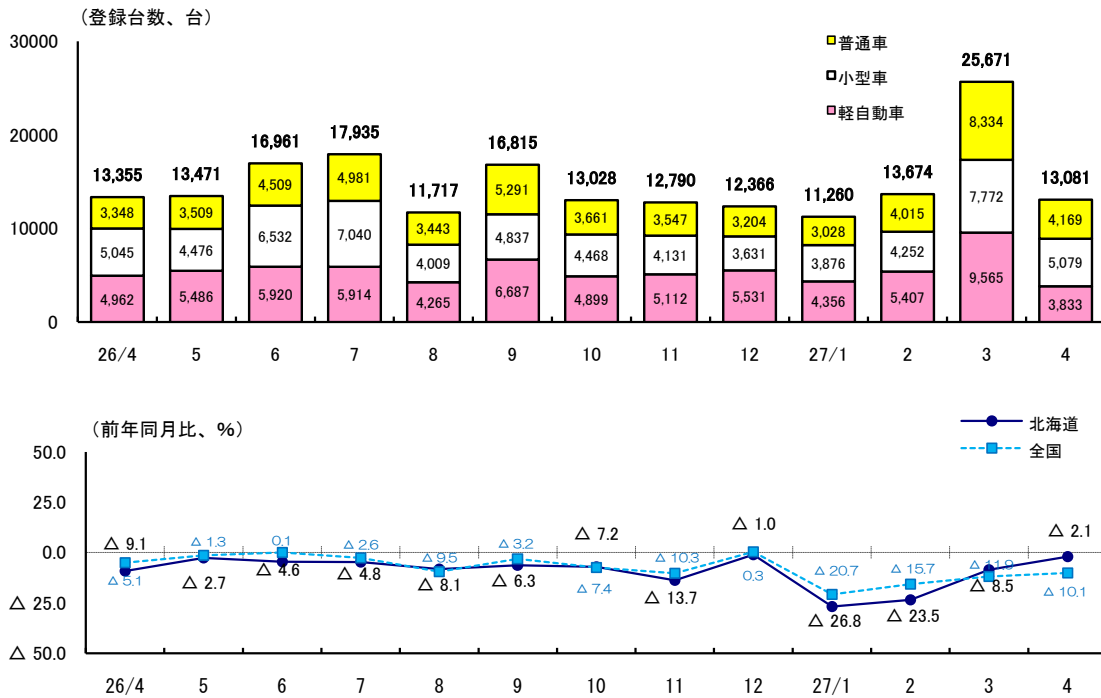
(販売額、億円)



(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

◆新車登録台数（4月）◆

新車登録台数は13,081台、前年同月比2.1%減と13か月連続で前年を下回った。

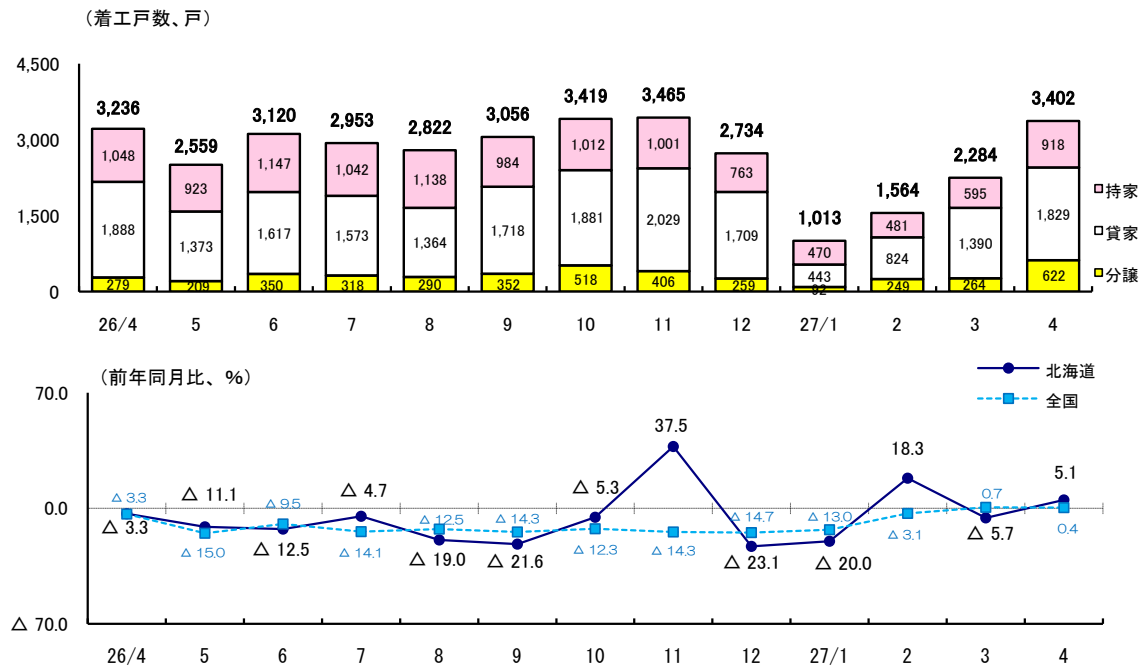


(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設 ~ 下げ止まりの兆しがみられる

◆新設住宅着工戸数（4月）◆

総戸数3,402戸、前年同月比5.1%増と2か月ぶりに前年を上回った。

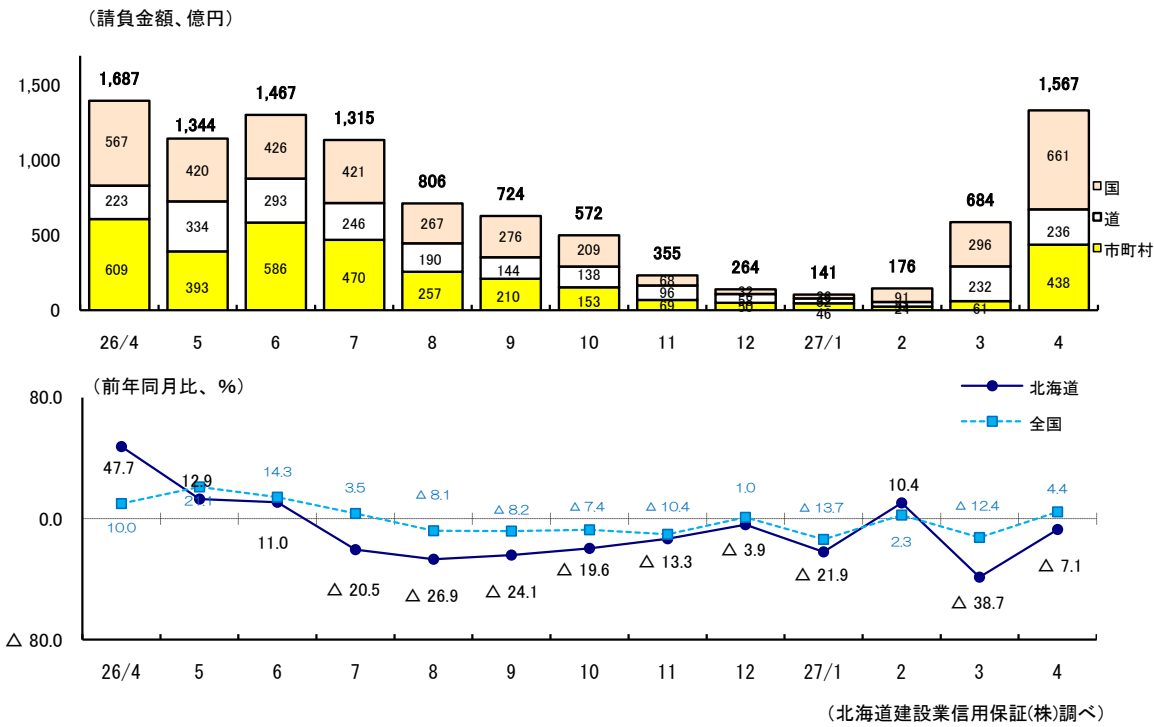


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事～ 減少している

◆公共工事請負金額（4月）◆

請負金額は1,567億円、前年同月比7.1%減と2か月連続で前年を下回った。

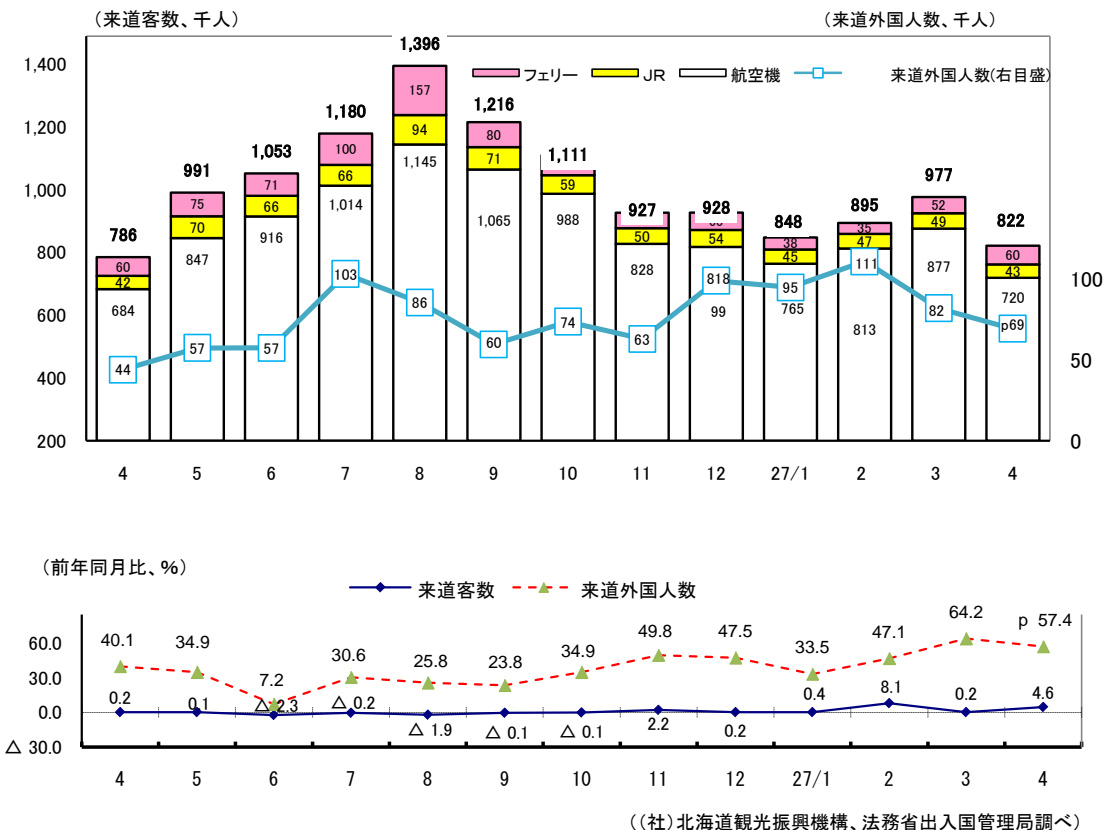


■観光～ 改善している

◆来道客数（4月）◆

来道客数は82万人、前年同月比4.6%増と6か月連続で前年を上回った。

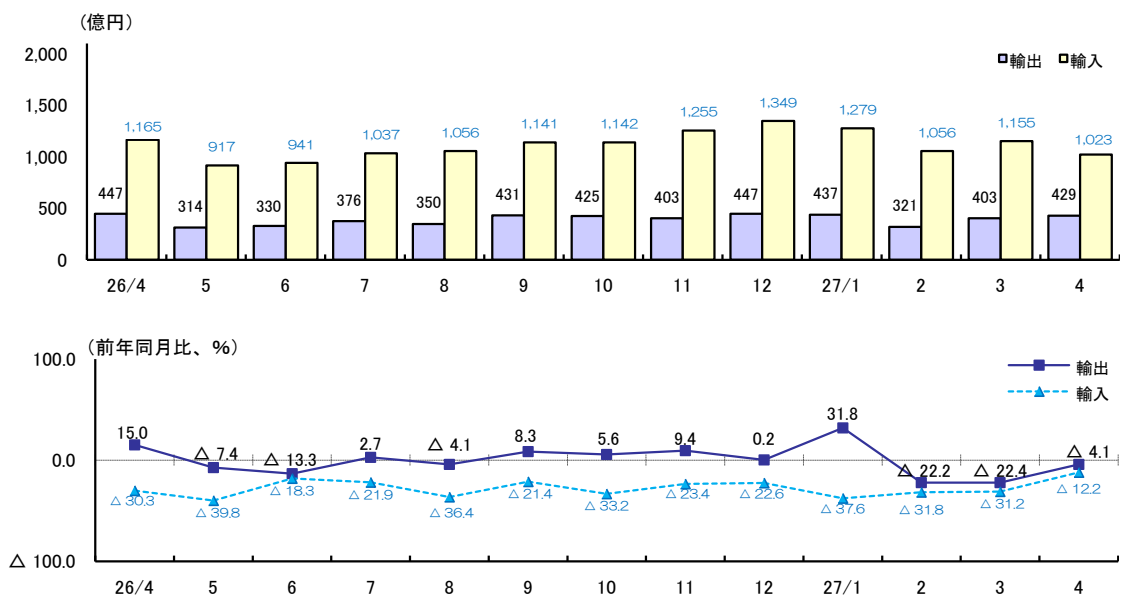
なお、本道に直接入国した外国人は6万9千人で、前年同月比57.4%増と27か月連続で前年を上回った。



■輸出入～ 輸出額、輸入額とも前年を下回った

◆輸出入額（4月）◆

輸出額は429億円、前年同月比4.1%減と3か月連続で前年を下回り、輸入額は1,023億円、同12.2%減と13か月連続で前年を下回った。



(財務省、函館税関調べ)

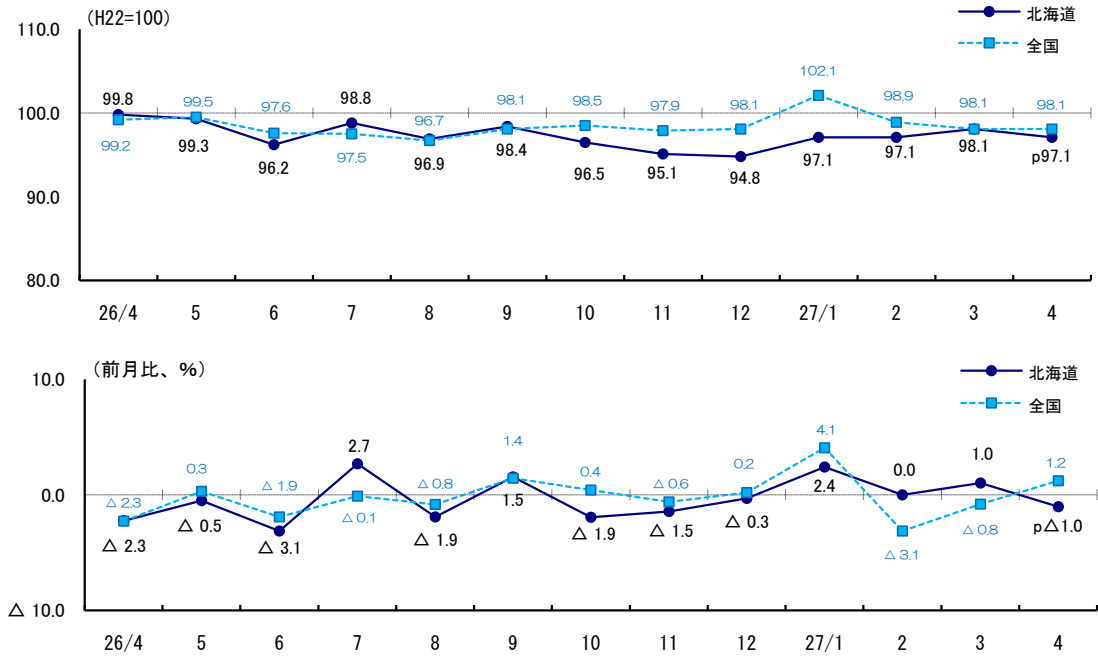
[生産動向]

■生産活動～ 横ばい傾向ながら弱い動きもみられる

◆鉱工業生産指数（4月）◆

季節調整済指数で97.1、前月比1.0%減と4か月ぶりに低下した。

業種別では、季節調整済指数で、パルプ・紙・紙加工品工業、電気機械工業、窯業・土石製品工業が低下したものの、金属製品工業、鉄鋼業などは上昇した。

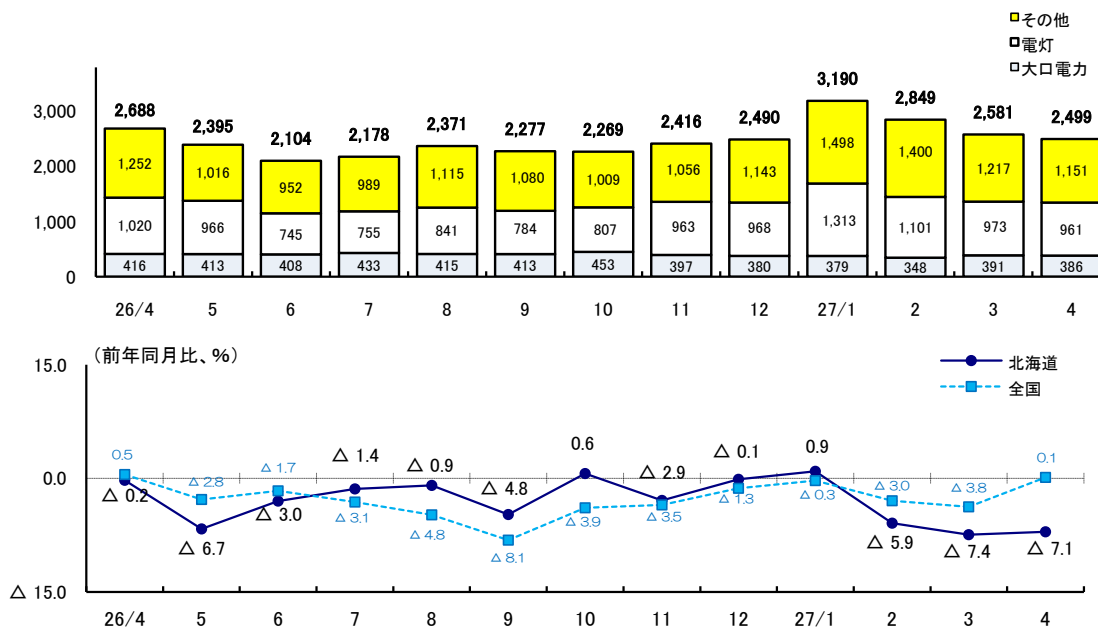


（北海道経済産業局調べ）

■電 力～ 電力需要、大口電力とも前年を下回った

◆電力需要（4月）◆

電力需要は2,499百万kWh、前年同月比7.1%減と3か月連続で前年を下回り、産業用需要の大口電力は386百万kWh、同7.2%減と3か月連続で前年を下回った。

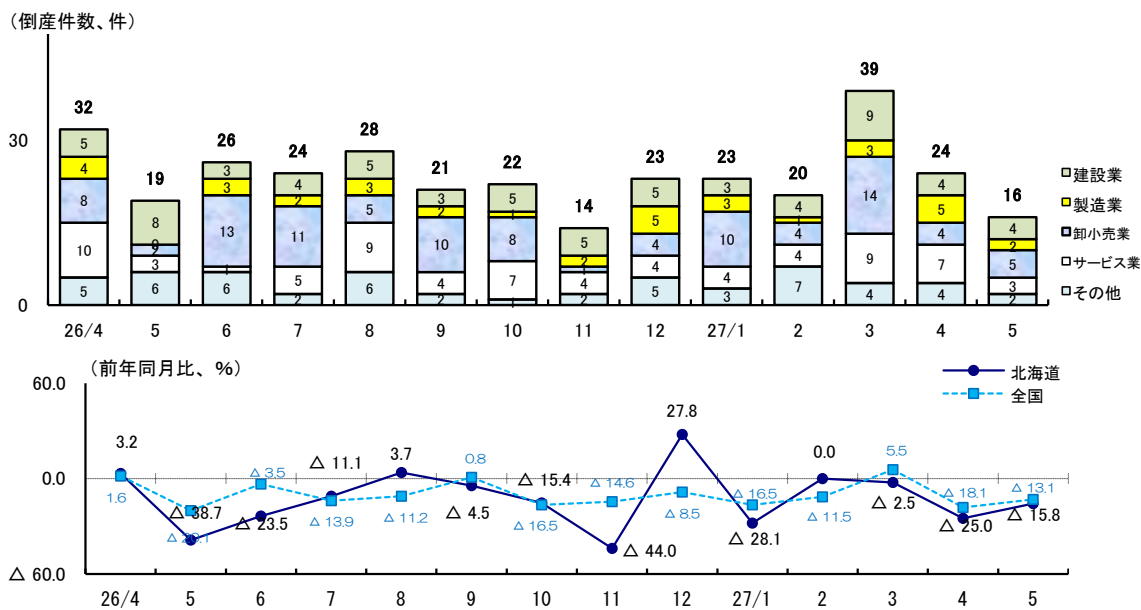


（電気事業連合会調べ）

■企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少している

◆企業倒産件数（5月）◆

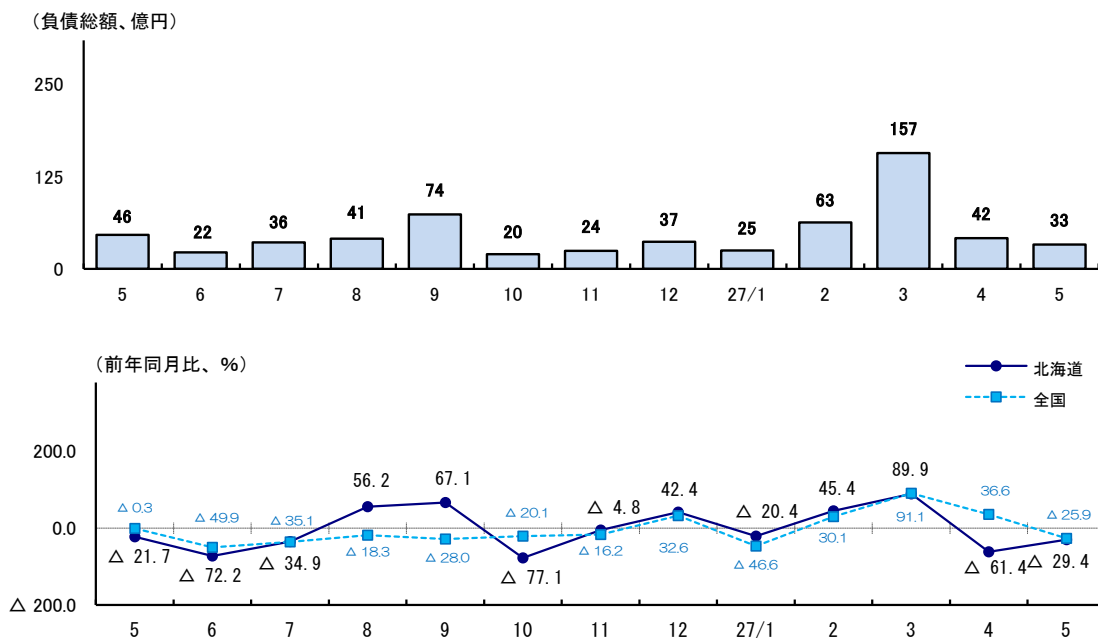
企業倒産件数は16件、前年同月比15.8%減と3か月連続で前年を下回った。



(東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆負債総額（5月）◆

負債総額は33億円、前年同月比29.4%減と2か月連続前年を下回った。



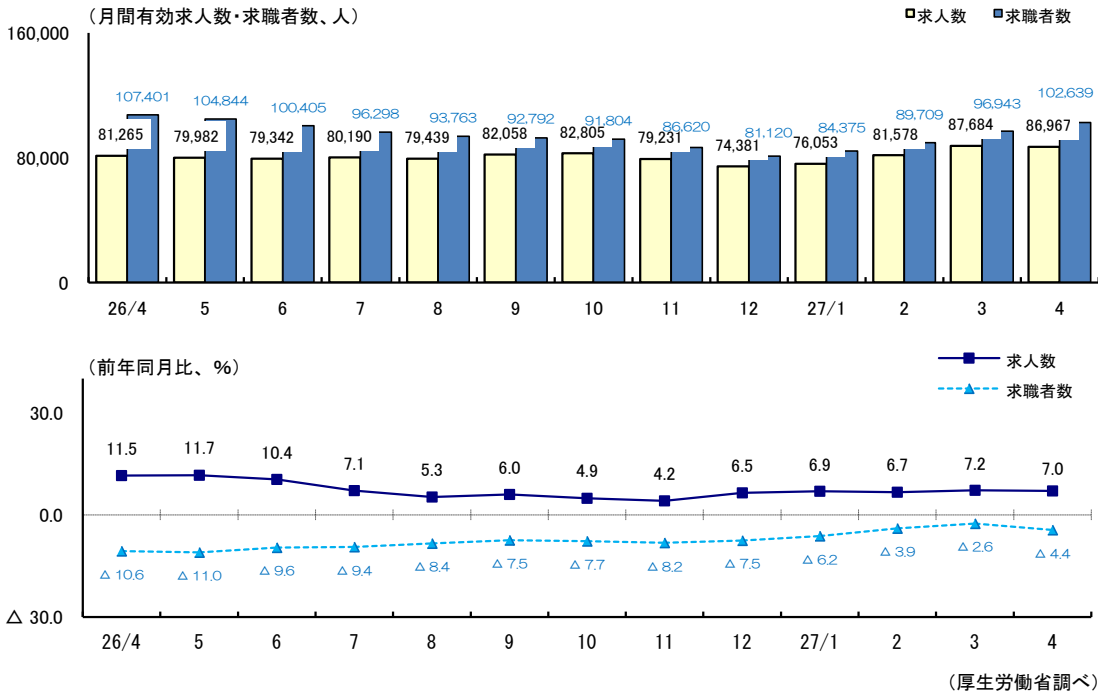
(東京商工リサーチ北海道支社調べ)

[雇用動向]

■求人・求職～ 緩やかに改善している

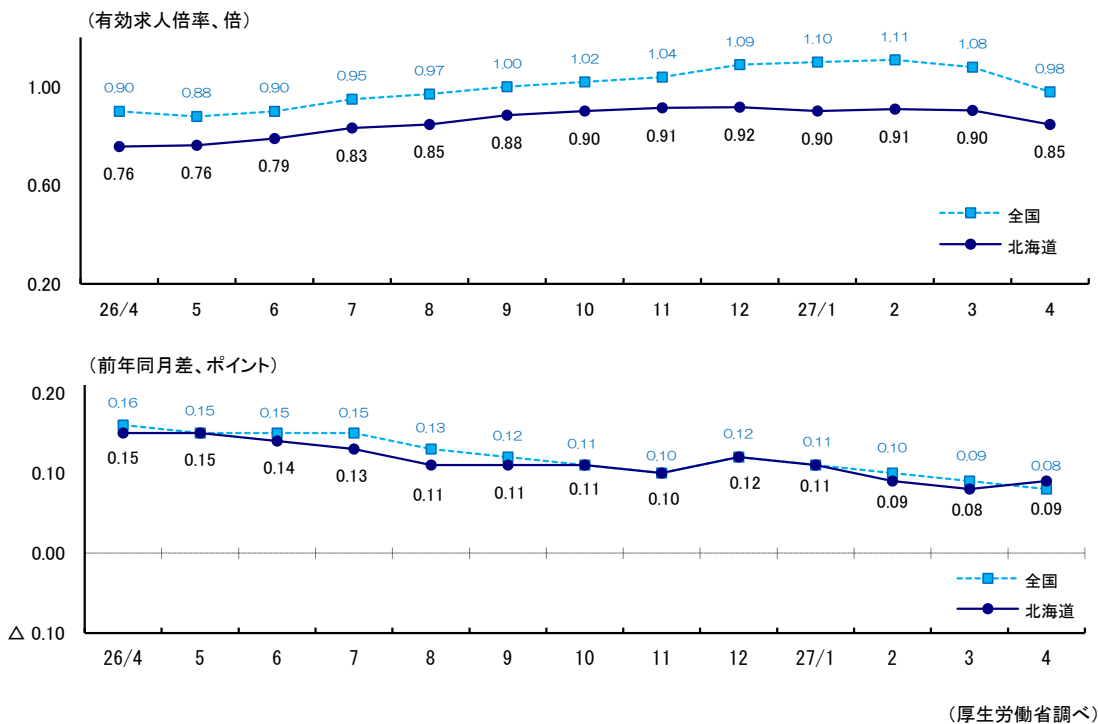
◆月間有効求人数・求職者数（4月）◆

月間有効求人数は8万6,967人、前年同月比7.0%増と63か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数は10万2,639人、前年同月比4.4%減と42か月連続で前年を下回った。



◆有効求人倍率（4月）◆

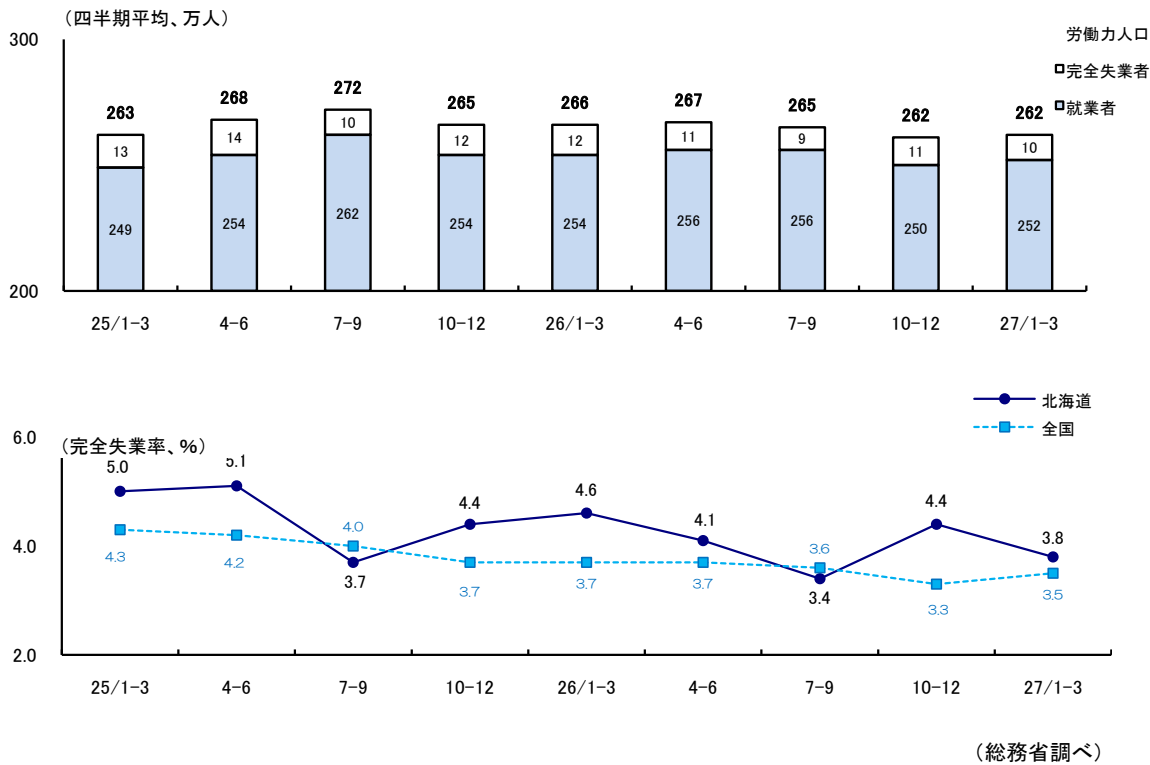
有効求人倍率は0.85倍、前年同月差では0.09ポイント増となり、63か月連続で前年を上回った。



■失業

◆完全失業者数、完全失業率（27年1-3月期）◆

完全失業者数は10万人と前年同期に比べ2万人の減少、完全失業率は3.8%、前年同期から0.8ポイント低下した。

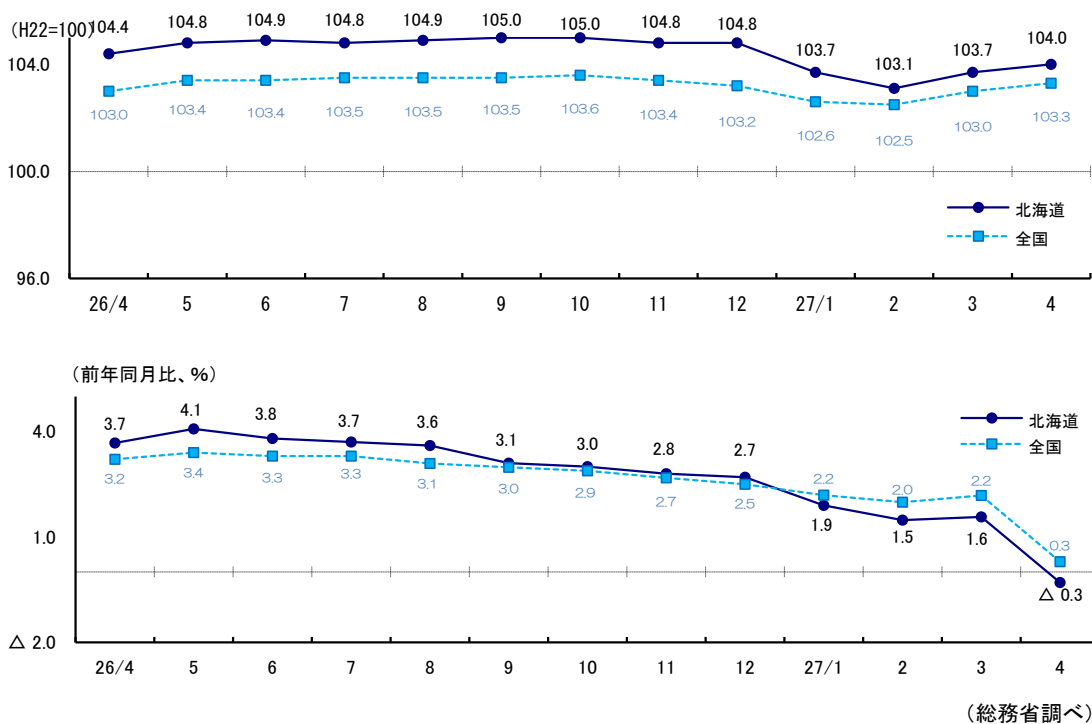


物価動向

■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（4月）◆

生鮮食品を除く総合で104.0、前年同月比0.3%低下し前年を下回った。



[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（5月）

【売上は堅調に推移】

5月は昨年よりも休日が多かったこともあり、売上げを押し上げる要因となった。

全体としては、売上目標をわずかに下回ったものの、外商と高級時計や国産高級化粧品などのインバウンド部門の売上が好調だったことで、ほぼ想定の範囲内となった。

一方で、売り場全体として、中間所得層の顧客の動きが弱く、インバウンドと富裕層の売上げに依存する傾向にあった。

◆スーパー（5月）

【好天による行楽需要が好調で、来店客数が増加】

5月は、好天が続いたことで、行楽需要が順調に伸びたことに加え、前年より日曜日が1日多かったため、売上、来店客数ともに前年同月を上回った。

特に、バーベキュー等の主役となる牛肉、ラム肉などの生肉類、弁当・唐揚げなどのデリカ類のほか、高値が続いている青果類においても、販促などの効果もあり順調に売上が伸びた。

◆コンビニエンスストア（5月）

【電気料金値上げの影響はあるも堅調に推移】

5月は、前年の同月と比べると来客数が減少したものの客単価が増加したため、売上高は増加した。

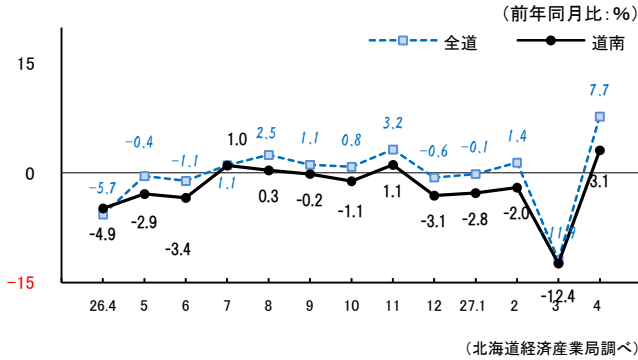
電気料金の値上げ等により、いわゆる消費者の「節約志向」が強まり、特に高齢者の来店客数が減少している。

ゴールデンウィークは、前半は天候が良く好調であった。中盤は天候が崩れたことで来店客数が落ちたものの、後半は盛り返した。

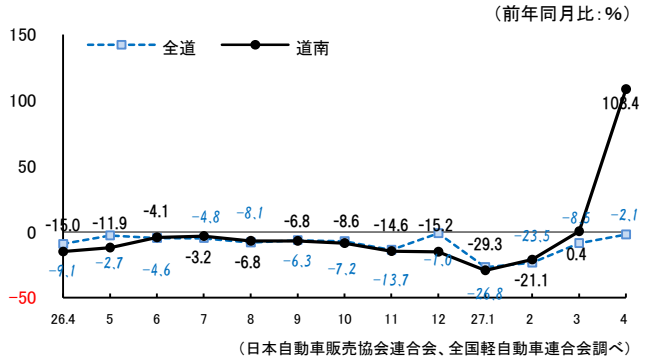
[地域の経済動向]

■道南圏

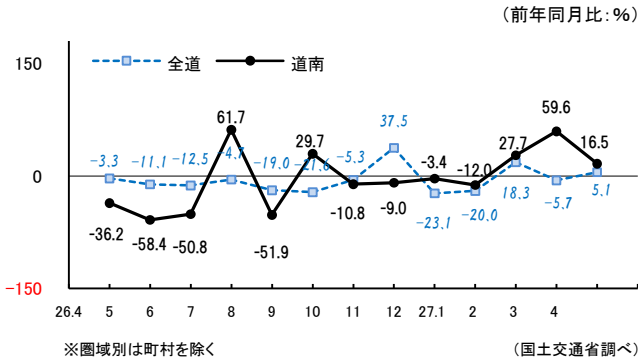
◆大型小売店販売額(全店、函館市) (4月)◆ 4か月連続で前年を下回った



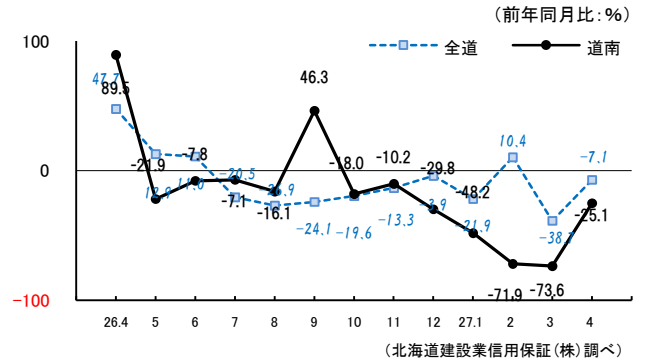
◆新車登録台数(乗用車) (4月)◆ 2か月連続で前年を上回った



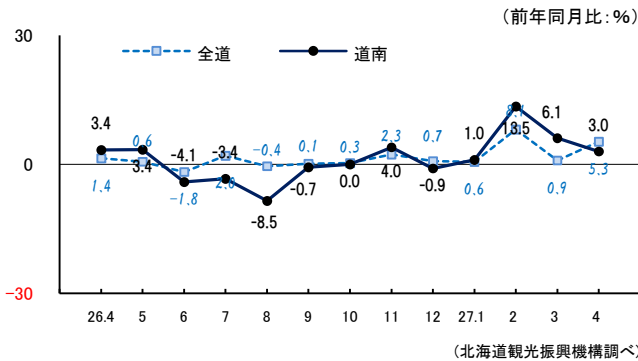
◆新設住宅着工戸数 (4月)◆ 2か月連続で前年を上回った



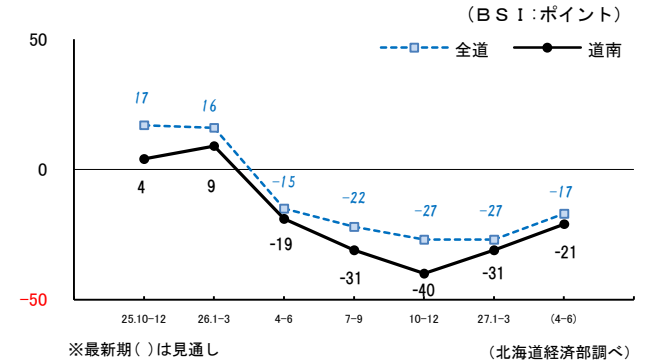
◆公共工事請負金額 (4月)◆ 7か月連続で前年を下回った



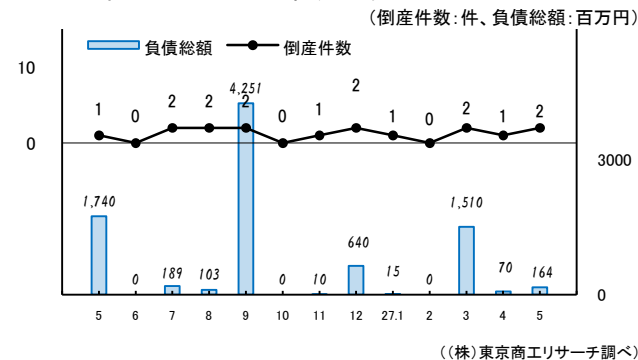
◆航空機利用による来道者数(着地別) (4月)◆ 4か月連続で前年を上回った



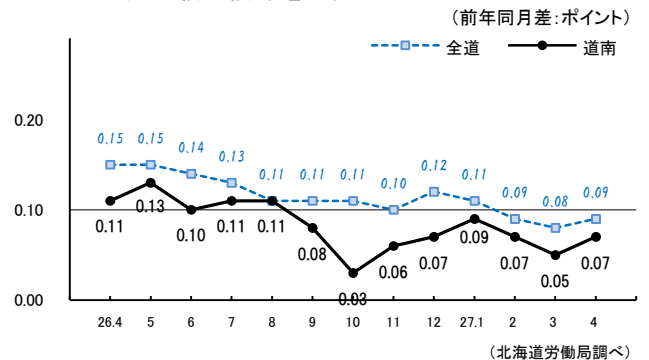
◆企業の業況感 (1-3月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産 (5月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



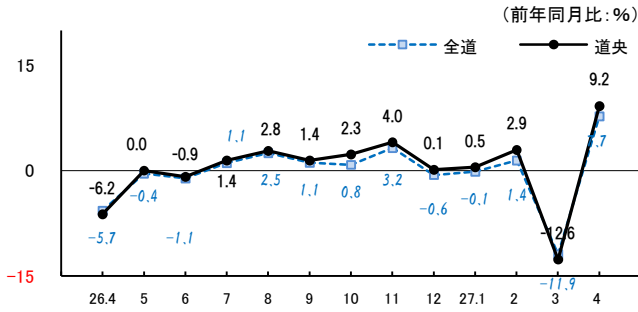
◆有効求人倍率 (4月)◆ 58か月連続で前年を上回った



■道央圏

◆大型小売店販売額（4月）◆

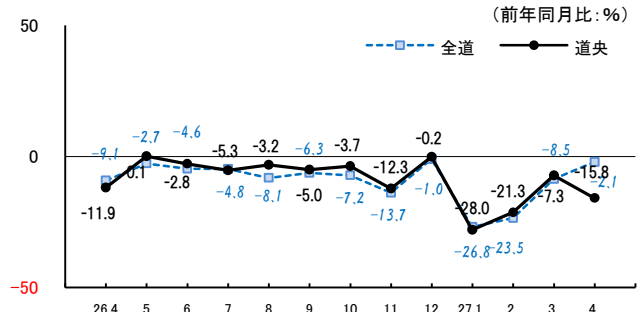
（全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市）
9か月ぶりに前年を下回った



（北海道経済産業局調べ）

◆新車登録台数（乗用車）（4月）◆

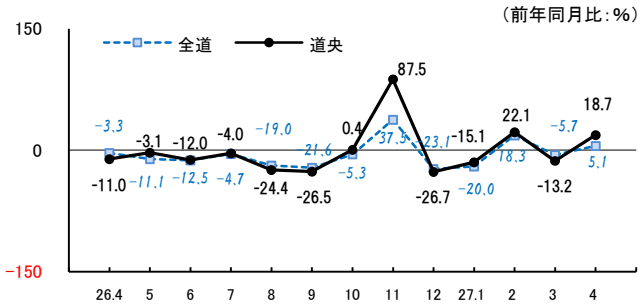
11か月連続で前年を下回った



（日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ）

◆新設住宅着工戸数（4月）◆

2か月ぶりに前年を下回った

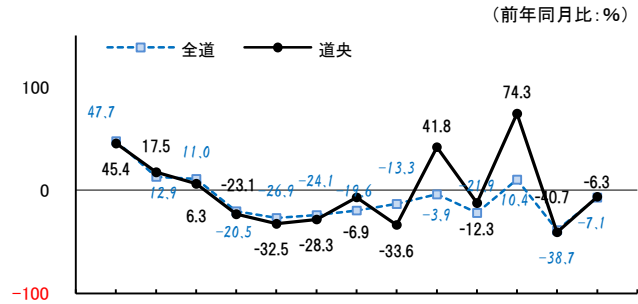


※圏域別は町村を除く

（国土交通省調べ）

◆公共工事請負金額（4月）◆

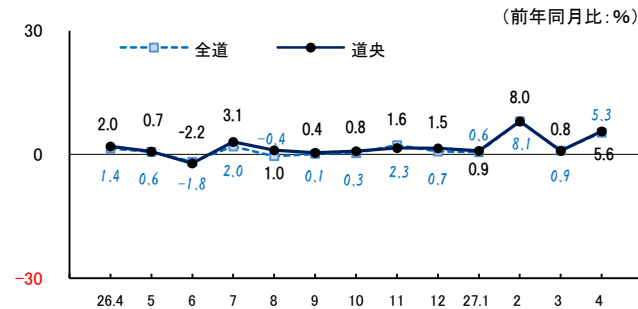
2か月連続で前年を下回った



（北海道建設業信用保証（株）調べ）

◆航空機利用による来道者数（着地別）（4月）◆

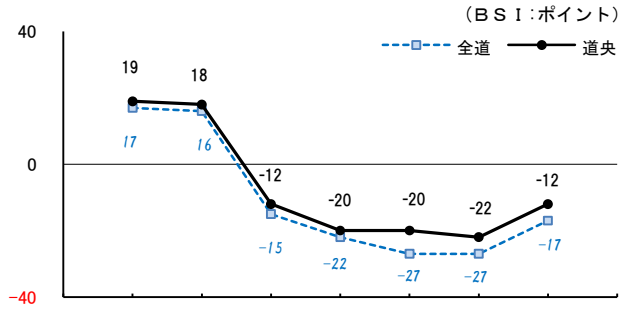
10か月連続で前年を上回った



（北海道観光振興機構調べ）

◆企業の業況感（1-3月期）◆

前期からマイナス幅が拡大した

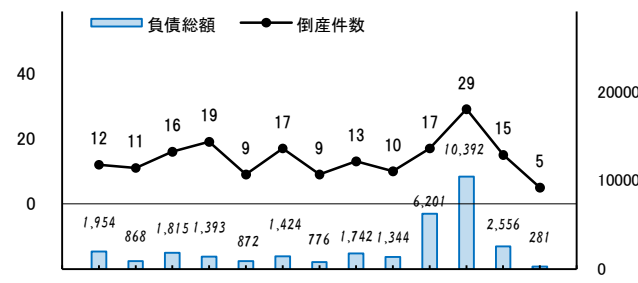


※最新期()は見通し

（北海道経済部調べ）

◆企業倒産（5月）◆

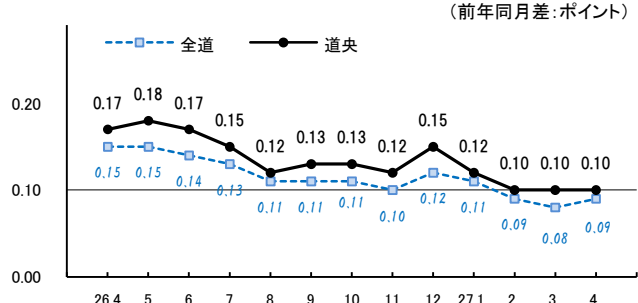
10億円以上の大型倒産は1件発生した
（倒産件数：件、負債総額：百万円）



（株）東京商工リサーチ調べ

◆有効求人倍率（4月）◆

61か月連続で前年を上回った

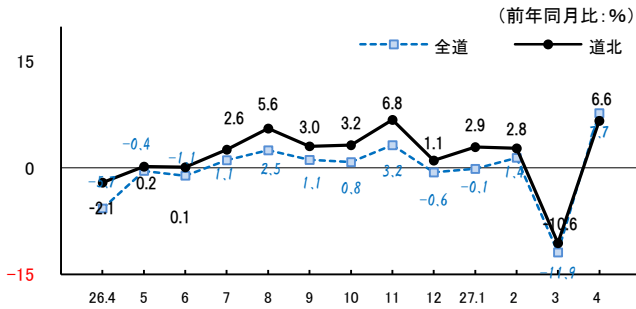


（北海道労働局調べ）

■道北圏

◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (4月)◆

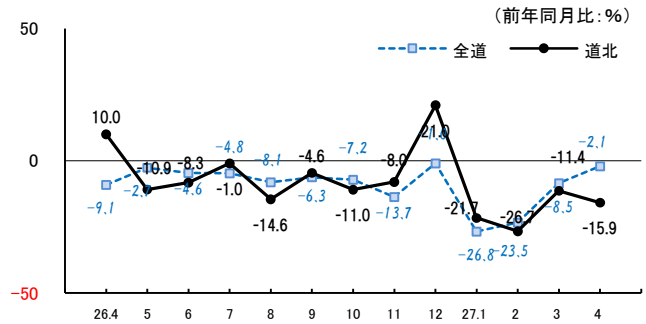
11か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (4月)◆

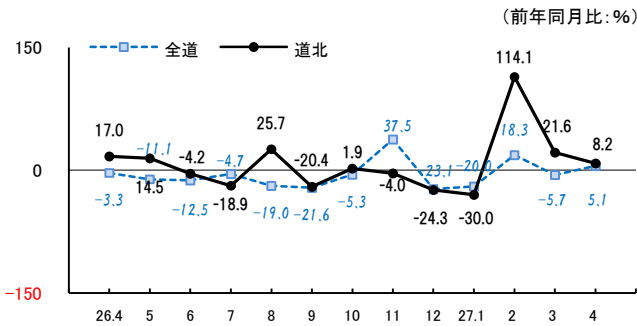
4か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会調べ)

◆新設住宅着工戸数 (4月)◆

2か月連続で前年を上回った

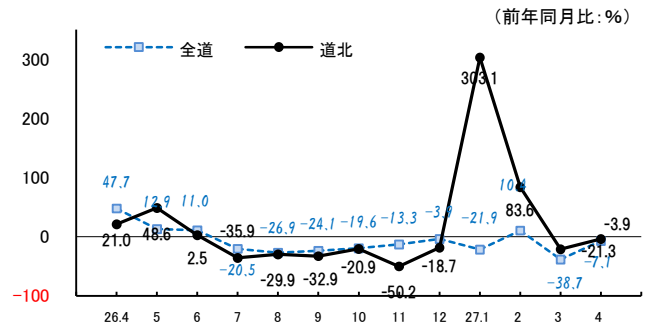


※圏域別は町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (4月)◆

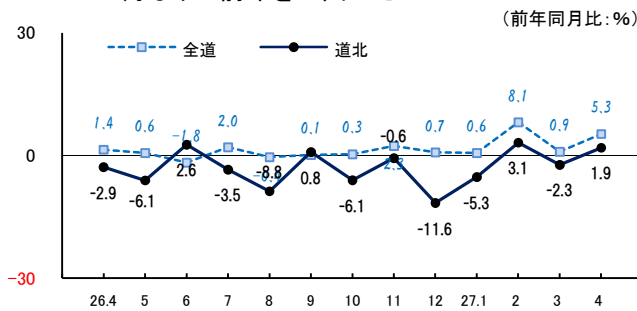
2か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (4月)◆

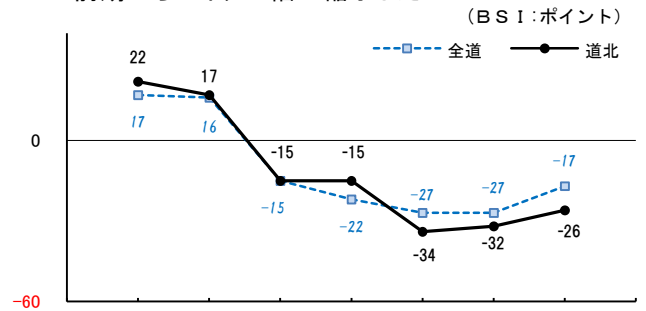
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

◆企業の業況感 (1-3月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



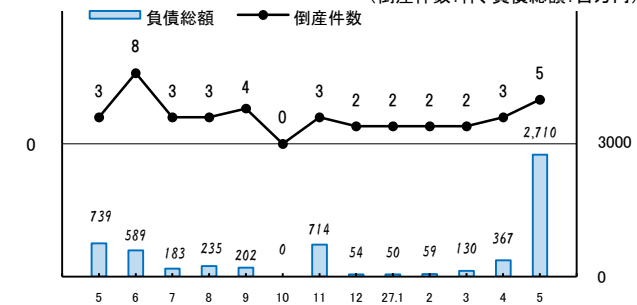
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産 (5月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

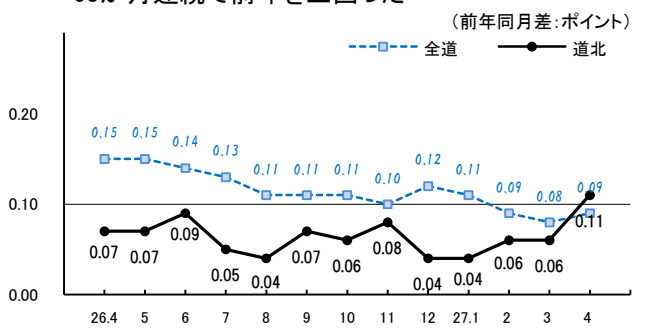
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率 (4月)◆

63か月連続で前年を上回った

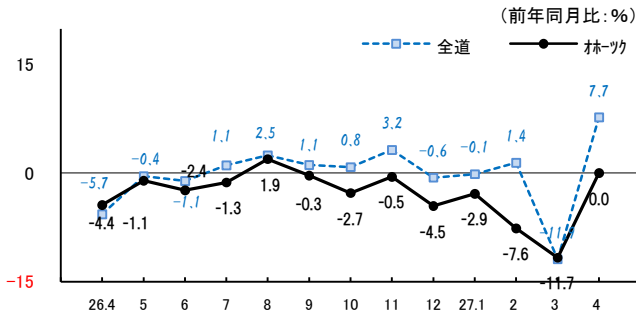


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店) (3月)◆

7か月連続で前年を下回った

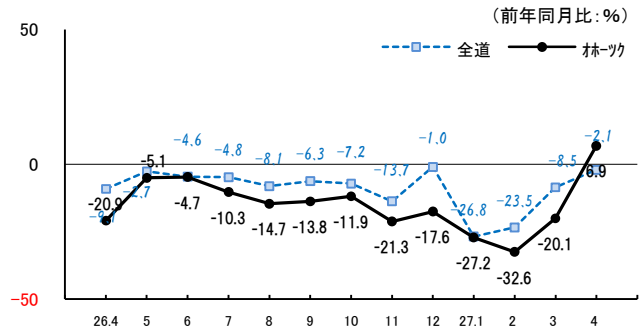


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (4月)◆

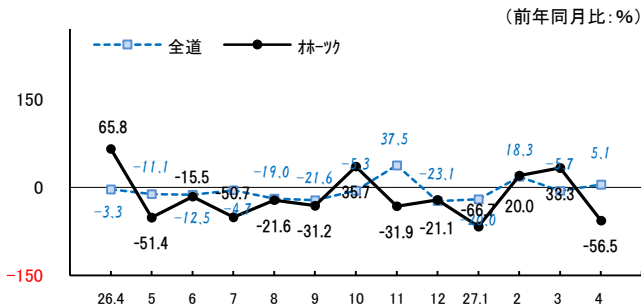
13か月ぶりに前年を上回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会調べ)

◆新設住宅着工戸数 (4月)◆

2か月連続で前年を上回った

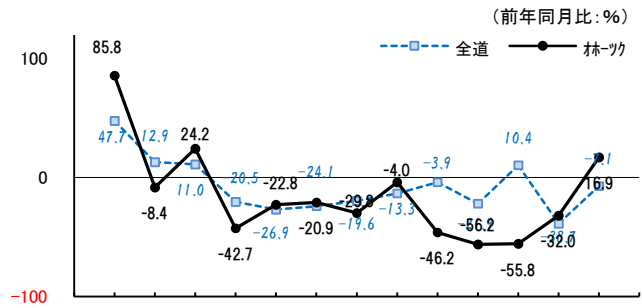


※圏域別は町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (4月)◆

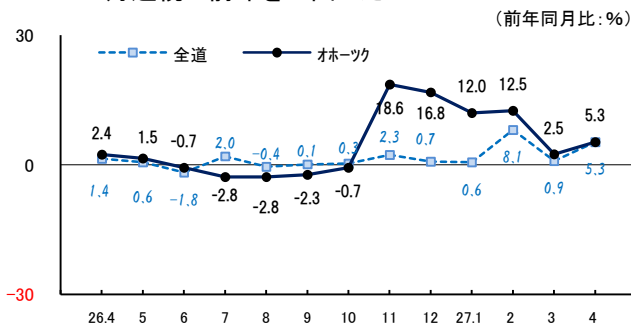
10か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (4月)◆

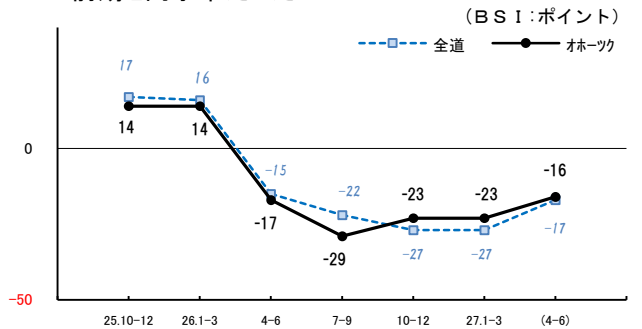
6か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

◆企業の業況感 (1-3月期)◆

前期と同水準だった



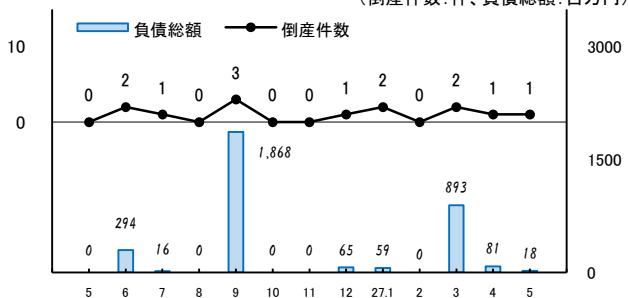
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産 (5月)◆

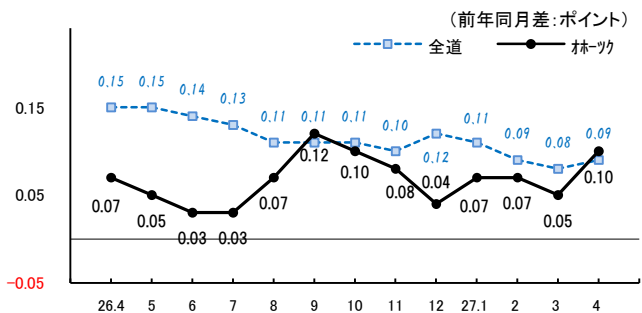
10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

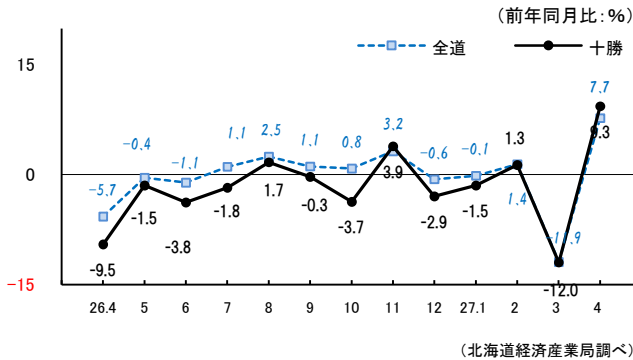
◆有効求人倍率 (4月)◆



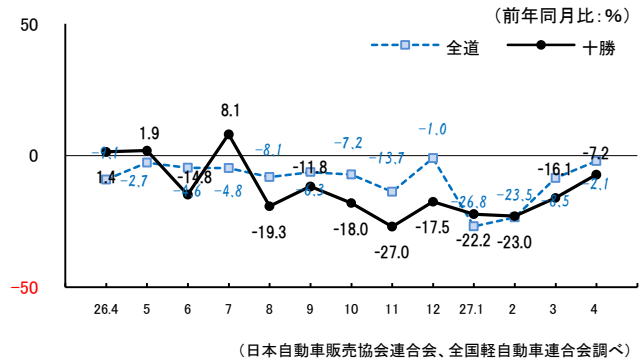
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

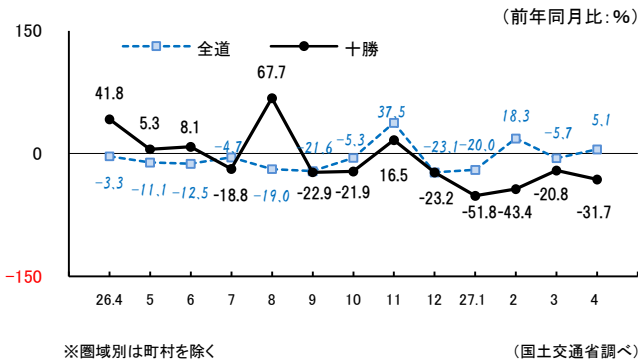
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (4月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



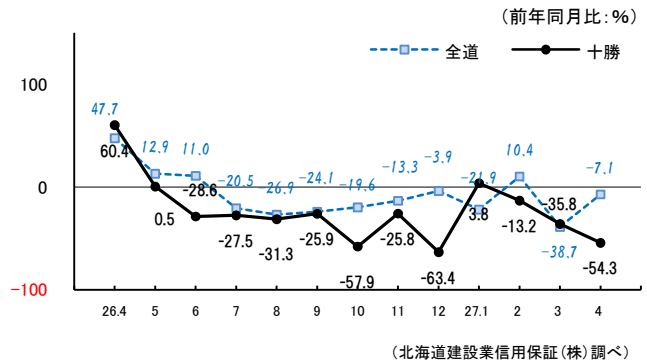
◆新車登録台数(乗用車) (4月)◆ 9か月連続で前年を下回った



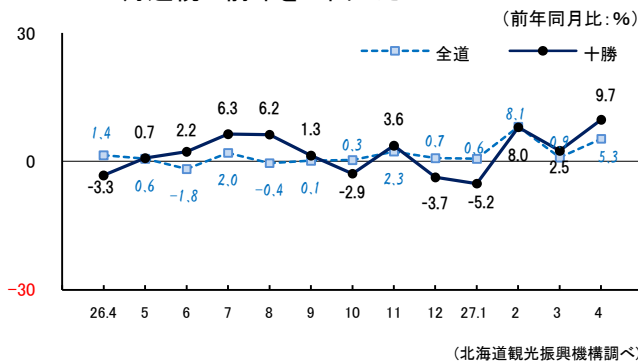
◆新設住宅着工戸数 (4月)◆ 4か月連続で前年を下回った



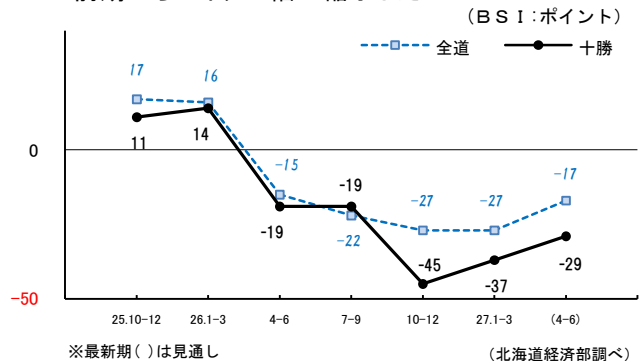
◆公共工事請負金額 (4月)◆ 3か月連続で前年を下回った



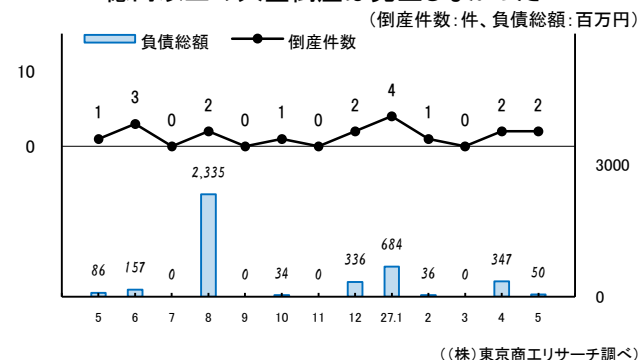
◆航空機利用による来道者数(着地別) (4月)◆ 3か月連続で前年を上回った



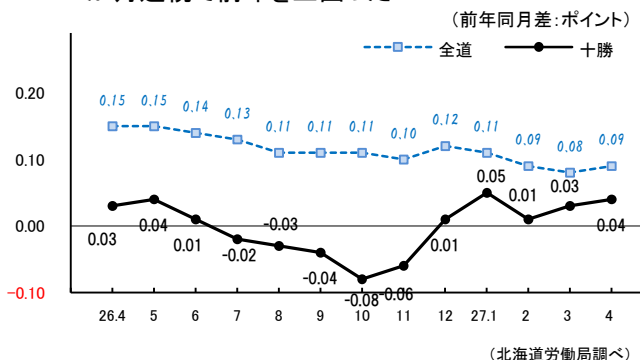
◆企業の業況感 (1-3月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産 (5月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった

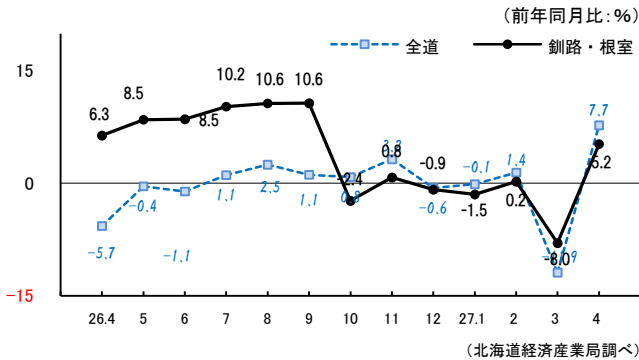


◆有効求人倍率 (4月)◆ 5か月連続で前年を上回った

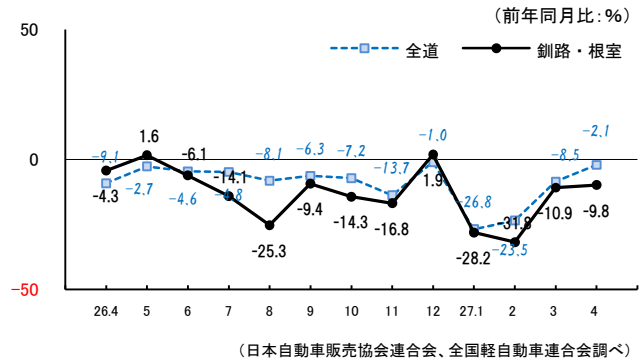


■釧路・根室圏

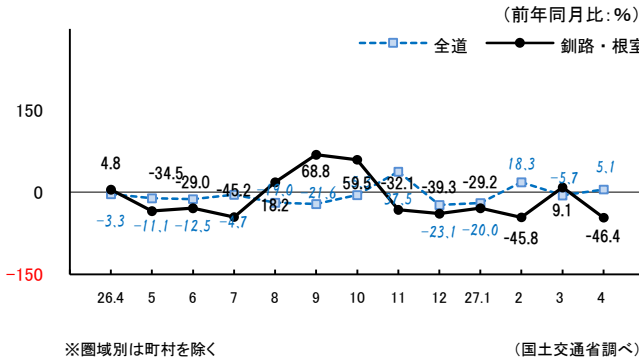
◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (4月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



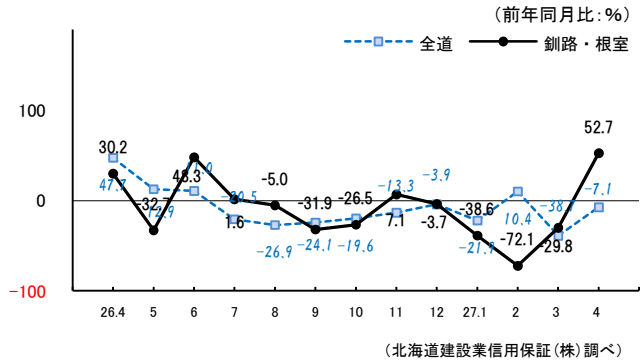
◆新車登録台数(乗用車) (4月)◆ 4か月連続で前年を下回った



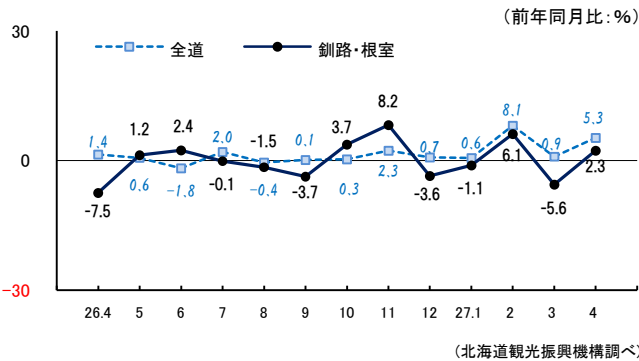
◆新設住宅着工戸数 (4月)◆ 5か月ぶりに前年を上回った



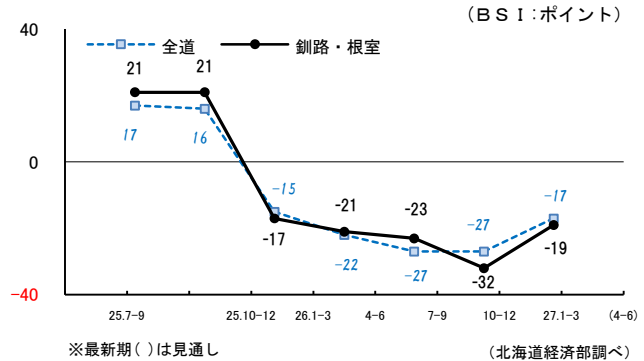
◆公共工事請負金額 (4月)◆ 5か月ぶりに前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (4月)◆ 2か月ぶりに前年を上回った



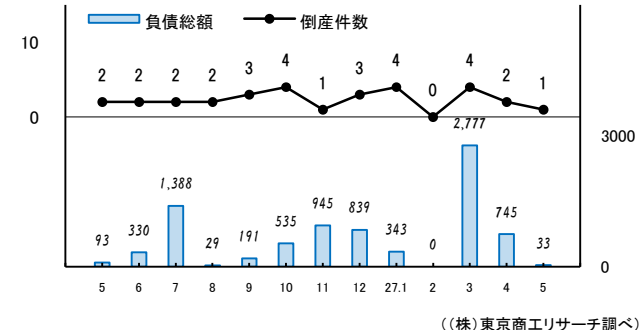
◆企業の業況感(1-3月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



◆企業倒産 (5月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

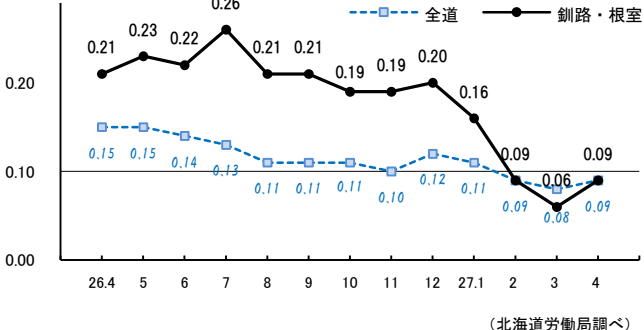
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (4月)◆

64か月連続で前年を上回った

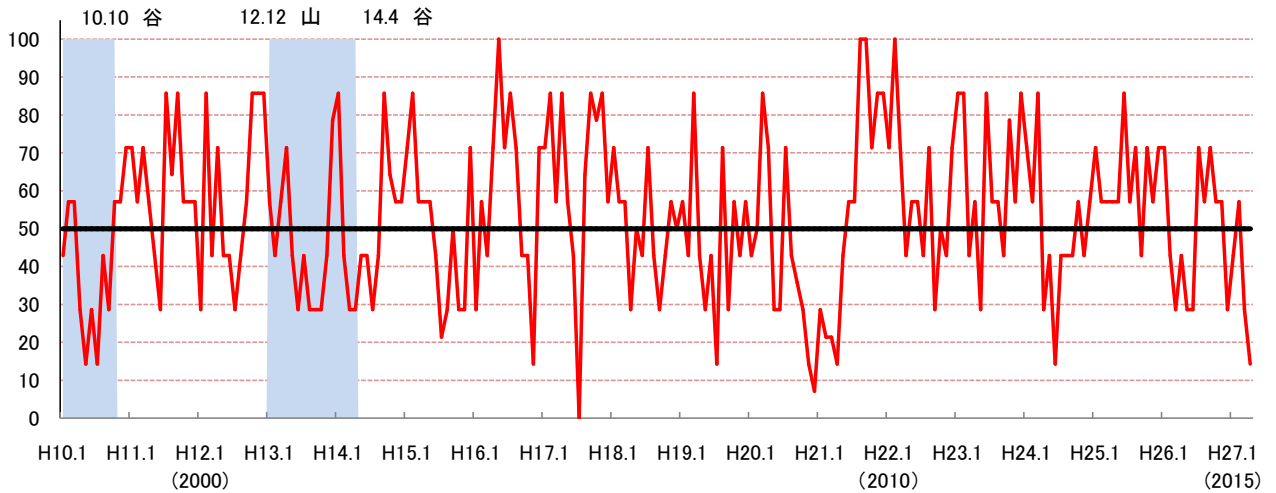
(前年同月差:ポイント)



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27/1月	2月	3月	4月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
	生産指数(生産財)	-	-	-	+	-	+	0	+	-	+	+	r +	p -
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-
	新設住宅着工戸数	+	+	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	-	+	+	-	+	+	+	+	-	-	-	+
	企業業況判断D.I.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0
	拡張系列数	3	1	1	3	1	4	3.5	5	3	2.5	2.5	2.5	3.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	42.9	14.3	14.3	42.9	14.3	57.1	50.0	71.4	42.9	35.7	35.7	r 35.7	p 50.0
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	+	-	+	-	-	-	+	+	r +	p -
	出荷指数(生産財)	-	-	-	+	-	+	+	+	-	-	-	r +	p -
	大口電力使用量	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	-
	百貨店販売額(既存店)	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	+	r -	p +
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	+	-	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	-	-	+	+	-	-	+	+	+	-	-	p -
	拡張系列数	3	2	2	5	4	5	4	4	2	3	4	2	1
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	42.9	28.6	28.6	71.4	57.1	71.4	57.1	57.1	28.6	42.9	57.1	r 28.6	p 14.3
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	+	+	+	-	+	-	-	-	+	+	+	-
	完全失業率(逆サイクル)	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	0
	消費者物価指数(総合)	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	-	-	-	-	-	-	+	-	+	+	-	-
	生産指数(資本財)	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	-	r +	p -
	拡張系列数	4	4	4	1	0	1	0	1	0	4	3	3	0.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	80.0	80.0	80.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	60.0	r 60.0	p 12.5

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。Pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■全国の景気

我が国経済の基調判断

～景気は、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、持ち直しの兆しがみられる。
- ・設備投資は、このところ持ち直しの動きが見られる。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・生産は、このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。
- ・企業収益は、総じて改善傾向にある。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっているが、一部に改善の兆しもみられる。
- ・雇用情勢は、改善傾向にある。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。

〔内閣府月例経済報告(平成27.6.15)から抜粋〕>

最近の経済動向
平成27年6月号

編集・発行 北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>